

三面
小川
きらきら
光る

小川小学校

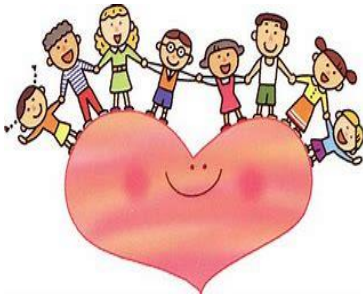
小川小日記



HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

人権のはなし

校長 佐久間 義久



講話集会で「拉致被害者問題」の話をしました。「人間らしく生きる権利」を奪う拉致被害は著しい人権侵害です。昨年度、県人権キャラバン隊の来校もあり、子どもたちは『人権』というキーワードに触れきていますが、子どもにとってはその意味は難しく、併せて多岐に渡る問題なので、人権問題については、折に触れて子どもたちに伝える必要性を感じています。

新潟県は、13の人権課題（女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、感染症患者等、新潟水俣病患者、拉致被害者、犯罪被害者やその家族、刑期を終えて出所した人等、インターネットによる人権侵害、様々な人権問題）があるとしています。教育現場では（特に小学校では）、そのどれも等しく扱うことは難しいので「同和教育を中核にした人権教育」を中心に据え、正しい認識とともに人権感覚を磨く取り組みをしています。道徳や社会や学級活動で、歴史や生活の中で見る差別の不合理性について考えさせるとともに、その不合理性をなくしたいと思える感覚を身に付けられればと思います。学校生活全般において「不合理を感じないようにするためには」は「みんなが楽しく過ごせること」に繋がります。なかよし班も、そのための一つの大きな活動です。その繰り返しによって人権感覚は磨かれ、『だから仲間はずしはダメ』『だから無視はダメ』『だからいじめはダメ』の感覚は培われていくと考えています。



日本が、国連の「子どもの権利条約」（子どもも一人の人間として権利をもつ）に参加して30年になります。第31条は「休み、遊ぶ権利」です。自ら勉強もしっかりしながら、休む、遊ぶ権利もしっかり行使できる、そんな夏休みを願っています。

毎月10日は【あいさつ DAY】

4月に後援会が呼び掛けました『あいさつDAY』は、地域においてはいかがでしょうか。子どもたちが「だって挨拶しても大人が言わないから…」と言うことがあります。どうやら事実の場合もあります。どうぞ、地域で、ご家庭での挨拶のお声掛けをお願いします。子どもは大人の鏡です。



新行事

めあてに向かって、がんばった「シャトルラン大会」



低学年



中学年



高学年



6月17日に昨年度まで行っていたマラソン大会に替えて、「シャトルラン」大会を実施しました。「シャトルラン」とは、小学校で毎年行っている体力テストの種目の一つです。20mの距離をスタート音に合わせて折り返して走ります。疲れてペースに追いつけなくなったら終了し、回数を記録します。初めての大会でしたが、たくさんのお家の方の声援を受け、盛り上がった大会となりました。みんな自分の練習の成果を発揮し、最高記録を出そうと頑張れたと思います。応援にお越しいただいた皆様、大変ありがとうございました。

シャトルラン大会の結果（1位のみ）は、次のとおりです。おめでとう。

学年	男子	折返し回数	女子	折返し回数
1年	高橋 そうすけ 小田 あおし	58	塩原 つきか 本間 えま	27
2年	長谷部 るい	65	高橋 みはね 大田 つむぎ	43
3年	猪股 こうき	77	本間 つきひ	48
4年	石栗 ゆうせい	72	佐藤 りおな	69
5年	小田 きりや	77	富樫 ひより	73
6年	高橋 ゆうま	111	大田 ゆま	60

3年生 「スーパーマーケット」の見学に行きました

7月2日に3年生は、社会科の学習でウオロク村上市へ見学に行きました。店長さんからお店の仕事について説明をお聞きした後、お客さんは立入禁止であるお店の裏側(バックヤード)も見せていただき、商品を保管する大きな冷蔵庫・冷凍庫の中も体験させてもらいました。班ごとにお店の中をまわり、店員さんにお話を聞くことができました。最後に店長さんにたくさん質問に答えていただいて、大変勉強になりました。ありがとうございました。学習したことを自分の買い物に活かしてほしいです。

